

**教科目標**

**聞くこと**

- ア. はっきりと話されれば, 日常的な話題について, 必要な情報を聞き取ることができるようにする。
- イ. はっきりと話されれば, 日常的な話題について, 話の概要を捉えることができるようにする。
- ウ. はっきりと話されれば, 社会的な話題について, 短い説明の要点を捉えることができるようにする。

**読むこと**

- ア. 日常的な話題について, 簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。
- イ. 日常的な話題について, 簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
- ウ. 社会的な話題について, 簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

**話すこと [やり取り]**

- ア. 関心のある事柄について, 簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。
- イ. 日常的话题について, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて伝えたり, 相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
- ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて, 考えたことや感じたこと, その理由などを, 簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

**話すこと [発表]**

- ア. 関心のある事柄について, 簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
- イ. 日常的な話題について, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
- ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて, 考えたことや感じたこと, その理由などを, 簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

**書くこと**

- ア. 関心のある事柄について, 簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。
- イ. 日常的な話題について, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。
- ウ. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて, 考えたことや感じたこと, その理由などを, 簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

1学期 主な学習内容 (40時間)	2学期 主な学習内容 (60時間)	3学期 主な学習内容 (40時間)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○Lesson1 Join Us</li> <li>○Lesson2 The Power of Music</li> <li>○Lesson3 Cranes for Peace</li> <li>○Reading Lesson1 What Makes Music?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Lesson4 Bollywood Movies</li> <li>○Lesson5 Translating Culture</li> <li>○Lesson6 Being Fair</li> <li>○Reading Lesson2 I Have a Dream</li> <li>○Lesson7 Design for Change</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Lesson8 For Our Future</li> <li>○Reading Lesson3 Learning from Nature</li> </ul>

**評価の観点と規準 (各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。)**

	評価の観点 (1学期より抜粋)	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定 (行動目標)
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了進行形の肯定文を理解し, それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉えることができる。</li> <li>・現在完了進行形の肯定文を理解し, それを含む英文を即興で話したり, 正確に書くことができる。</li> </ul>	[全教科共通] ・定期テスト <b>【各教科の方法・資料】</b> ・QAテスト ・小テスト ・ワークシート ・言語活動への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査では, 60点の配点を基本とする。</li> <li>・QAテストや会話テストの中に, 正しい文法で回答や会話ができているかなどを図る場面を設定する場合がある。</li> <li>QAテストでは, その得点に準じて, A, B, Cで評価する。</li> <li>(QAテスト評価項目例)</li> <li>A=尋ねられた質問に対して, 適切な表現で回答することができる。</li> <li>B=尋ねられた質問に対して, 誤りがあるものの, 英語で回答することができる。</li> <li>C=自分が知っている英語で何かしらの回答をした。</li> </ul>
II 思考・判断・表現	Lesson 2 Goal Activity 英語の授業で歌う曲を決めるために, 読み手を意識しながら, おすすめしたい曲の特徴や自分が気に入っているポイントに言及しながら紹介することができる。	[全教科共通] ・定期テスト <b>【各教科の方法・資料】</b> ・パフォーマンステスト ・原稿, ワークシート ・小テスト ・言語活動への取組	パフォーマンステストの項目【Expression】は, 達成度を点数化して評価する。 (スピーチテスト評価項目例) □理由やきっかけについて話している。 □聴衆を惹きつけるための文章表現が, 発表中に使われている。 □様々な表現を使って, 相手に自分の想いが伝わるようにスピーチの原稿が練られている など ※その都度ループリック等を提示する。
III 主体的に学習に取り組む態度	Reading Lesson 1 音楽の特徴をまとめるために, (段落のタイトルに着目し,) 音楽に力をもたらすものについて書かれた記事を読んで, 感じたことや学んだことを文章で表現しようとしている。	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 <b>【各教科の方法・資料】</b> ・パフォーマンステスト ・QAテスト ・ライティングノート ・音読テスト ・音読・暗唱カード ・言語活動への取組	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について, 正しい文法表現を使って表現しようとする。粘り強く取り組み, 知識や技能を習得しようとする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について, 自分の伝えたいことを様々な表現を用いて伝えようとする。学習や活動のゴールを達成するために, 自己調整を通して取り組もうとする。 <b>【各教科 独自の方法】</b> (Reading Lesson 1 評価項目例) A=自分が感じたことや考えたことを, 本文中の文章を引用しながら, 理由とともに伝えようとしている。 B=自分が感じたことや考えたことを, 簡単な語句を使って, 理由とともに伝えようとしている。 C=自分が感じたことや考えたことを, 伝えようとしている。 など